

# 横浜市立洋光台第二小学校 今年度の教育活動について



洋光台第二小学校  
学校教育目標

洋々たる未来を  
光り輝いて生きる力の  
土台をつくります

令和5年度が始まり、3か月が過ぎました。今週からいよいよ、38日間の長い夏休みが始まります。振り返ると令和2年の春先から始まった新型コロナウイルス感染症対策では、学校の生活様式を改め、マスクの着用や食事での会話制限、密を防ぐための分散登校など、各ご家庭に協力を仰ぎ、子どもたちの健康や安全を守るための取組を続けてまいりました。

令和5年5月8日には、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置付けられ、学校の生活も少しずつですが、以前のやり方にシフトチェンジしているところです。但し、3年前の同じ地点に戻っての再スタートではなく、コロナ禍で経験し、学んだことを生かし、よりブラッシュアップした学校生活を再構築できたらと思います。登校時間等、今年度からの変更点に加え、ペア学年でのたてわり活動等、現在の子どもの活動の様子を併せてお伝えしたいと思います。8月28日から始まる前期後半に向けて、各ご家庭に於きましてもご確認をいただけたらと思います。引き続き保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

令和5年7月

★学校の様子、子どもたちの活動をタイムリーに発信しています。★

「校長室の窓」



洋光台第二小学校 校長 野村 光



## 中期取組目標

### 1. 「学力向上や人間関係の育成を目指す学校」

洋二小の児童、誰もが笑顔で日々を過ごし、人間関係を育みながら、自己有用感を高め、基礎学力をしっかり身に付けられるようにします。

### 3. 「使命感をもつ教職員がいる学校」

一人ひとりが力を発揮し、教職員のチーム力を向上させ、組織として対応できる教職員集団を作ります。

### 2. 「生命・安全・人権を大切にする学校」

善いものや美しいもの、尊いもの等にあこがれる豊かな情操と人権意識を育み、自分の生き方を見つめる力を育てます。

### 4. 「地域社会のネットワークを生かす学校」

学校運営協議会・PTA・学援隊等との円滑な連携を組み、安心・安全な学校づくりを推進します。

上記の中期取組目標を受けて、「具体的取組」を作成しています。  
下記の内容は、その一部を抜粋したものです。(HPにも掲載しています)

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①資質・能力を明確にした指導と適切な学習評価に努め、カリキュラム・マネジメントを推進する。 ②生活・総合の重点研を通して、自分たちの思いや願いを大切にしながら問題を発見したり解決したりして、生き生きと学びに向かう児童の育成を図る。
担当 重点研・学習指導部	
徳 道徳・人権教育	①道徳教育と人権教育により、心の教育を充実させることから、いじめのない学校づくりを目指す。 ②児童主体のあいさつ運動の実践と、状況に応じた、たてわり活動の充実を図ることにより、児童相互のコミュニケーション能力の向上を図ると共に、人権感覚を養っていく。
担当 人権教育部	
体 健康教育	①体育学習の一単位時間の充実を図るために、実技研修を通して指導内容の確認と確実な定着を図ることから、体力の向上につなげていく。 ②児童の日々の様子や健診結果などから課題を見出し、学校保健委員会での活動を通して改善を図る。
担当 体育部・健康教育部	
公開 地域学校協働活動	①学校運営協議会の助言や評価を受けて教育活動の改善を図ると共に地域行事に参加し、地域と共に生きる学校となるよう連携を進めていく。 ②地域コーディネータの方と連携しながら地域の教材(人も含めて)を開発し、学習支援を充実させる。
担当 管理職・教務	

## 保護者の方に知っていただきたいこと



### 1. 登校時間について

昨年度までは、感染症予防として、密を回避する目的で、8時5分からの登校でしたが、今年度より、登校時間を**8時10分～8時25分**としています。これは、コロナ禍前と同様の時間設定です。

安全上の面から、「**8時10分より早くには登校しないように**」と指導しています。また、朝の活動に余裕をもって取り組めるよう、「**8時20分までに登校を**」とも指導しています。

まだ、登校時間前に学校に着くお子さんがいるようです。また、8時25分を過ぎて登校してくるお子さんもいますので、各ご家庭でも、改めて家を出発する時刻等についてお話しいただければ幸いです。

### 2. 個別級の宿泊学習について

昨年度同様、磯子区全体での統一した施設の確保が難しいため、各校ごとに実施します。本校では、学校を宿泊場所として、10月27日(金)・28日(土)に行います。

### 3. たてわり活動について

令和2年度より、たてわり活動はペア学年で行っています。これは、コロナ禍の中でたてわり活動を継続させるための措置として始めたものです。

しかし、全学年でのたてわり活動の代わりとして始まったペア学年でのたてわり活動ですが、取り組む中で、「少人数のため、グループ内での個々の関わりが多くなる」などの良さも見えてきました。また、ペア学年の関わりでは、上学年が必ずリーダー学年となるので、段階を踏んでリーダー性を高めていくこともできるようになってきました。今年度も、ペア学年のよさを生かしながら、子どもたちのリーダー性を高められるよう指導を続けていきます。

#### ◆ペア学年での活動の様子◆



1・6年



2・5年



3・4年

牛乳パック開きや体力テストなど、様々な学習や生活の場面で一緒に活動し、6年生が1年生をサポートしています。

たてわり遠足やペア交流で、5年生は前年度の学びを生かしながら、2年生と上手に関わっています。

4年生は初のリーダーとして、3年生は次年度の初リーダーを見据えて、ペア学年との関わりを考えながら活動に取り組んでいます

## 児童支援専任より「家庭と学校はパートナー」



最近、放課後のトラブルについて学校への相談が増えています。公園でのトラブル、遊び方についてのトラブル、友達とのトラブル、スマホやLINEに関わるトラブルなどが多く報告されています。放課後の遊び方や友達との関わり方については学校で日々指導していますが、ご家庭でもそうしたトラブルが起きないように、日頃からの声かけを引き続きよろしくをお願いします。

スマホやLINEの利用については特に保護者の皆様のご協力をいただきたいと思います。現在、横浜市全体としてスマホの利用が低年齢化してきています。それに伴い、スマホやSNSにかかわるトラブルも増えています。そのトラブルについて、学校が介入するのが難しいケースが多いことが現状です。スマホは保護者が購入して子どもに貸与するものです。そのために家庭でのルール作りや、フィルタリングの設定、アプリの起動・インストール等の制限を行うのも保護者になります。お子さまが安心して、有効に情報機器を使うために、学校では情報機器の使い方について指導していきます。ご家庭でも、スマホ等を安心、安全に使用できるように、使用状況を把握したうえで、学校と同じ方向を向いて指導してほしいと思います。

「家庭と学校はパートナー」として、お子様のより良い成長のために、一緒に見守っていただきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

### 保健室より

最近、子どもたちの体力低下を感じる時があります。とりわけ、よい姿勢を保つことが苦手であり、学校の休み時間に移動しているときに転んでけがをする子どもも増えています。今年度の学校保健委員会では、「体幹」をテーマに取り上げます。子どもたちが自分たちの姿勢や体力向上に関心をもてるようにしていくために、講師を招聘しての講演や実技講習等も実施してきました。

